

eラーニングによる英語教育サービスの 現状と課題の考察

石巻 賢作¹

キーワード：英語教育(EFL, ESL, English Learning)、eラーニング(e-Learning)、市場調査(Market Research)

要 旨

本稿では、グローバルおよび国内のeラーニングによる英語教育の現状について調査を行った。まず国内外の調査会社が公表している市場調査を中心として、語学教育（英語以外の言語を含む）、英語教育、そしてeラーニングによる英語教育の需要に関する情報を収集した。その結果、語学教育の需要が堅調に拡大する見通しであること、中でも英語がその中心と考えられること、そしてeラーニングによる英語教育の市場が目覚ましい成長をしていることがわかった。また現在、世界規模で展開しており日本でもサービスを展開している、eラーニングによる英語教育サービスを比較検討した結果、リーディング、リスニングの学習コンテンツについては既に各社が多様な教材を提供しており、PC、タブレット、スマートフォン全ての端末への対応が一般化していることがわかった。一方で、スピーキング、ライティングについては自動化・機械化は限定的で、講師によるレッスンや添削がオンラインで提供されているのみであることがわかった。

1. はじめに

本研究は、英語教育のeラーニングの現状と課題についての研究への序説として、調査・考察を行うものである。

2019年末に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は、教育界にも甚大な影響をもたらした。UNESCO Education Sector(2021)の報告では、COVID-19により最大時には世界の就学人口の91%にあたる15億人の学生が影響を受けており、パンデミック発生から1年が過ぎてもなお、Blended Learningを含めての教育の持続性確保が最優先事項であるとしている。日本の大学教育もその例外ではなく、勝(2020)は非常事態宣言中であった2020年5月時点の文科省の調査では、90%の機関(国公立大学・高等専門学校)が遠隔授業のみの実施であったことを報告している。このような状況にあって、英語教育でも以

¹ サイバー大学 IT 総合学部・講師

前から成長分野であった eラーニングが飛躍的な発展を見せている。

本稿では、まずは世界の英語教育と eラーニングの動向について俯瞰する事を目的として、海外及び国内の各調査会社が公表する関連業界の市場調査レポートを主な情報源として情報収集を行う。また、世界的に eラーニングによる英語教育サービスを展開し、日本でも展開している比較的大規模なものについても比較検討し、将来の展望を得る観点から考察を試みる。なお、詳細の市場調査レポートはそれぞれの調査会社が有償で購入者のみに提供している情報であるため公開を許諾していない。よって、本稿で参照するものは無償公開されている情報に限る。本稿で使用する用語について、引用するそれぞれのレポートにおいて「オンライン(online)」「eラーニング(e-Learning)」が頻繁に使用されており、引用においては基本的にレポートに記載のものをそのまま使用している。一方で、上記の二つの用語の定義には曖昧なところがあると思われる。よって、本稿では、「オンライン」は「インターネットを使用したもの」、「eラーニング」は「インターネットを使用した学習」と、それぞれ解釈するものとする。

2. グローバルの市場調査からみる英語教育と eラーニングの現状

2.1. グローバルの英語学習市場調査

海外の調査会社が公開している、グローバル英語学習市場に関する調査レポートの概要の中から、市場の予想成長率や成長の要因など主だった内容を抜粋して以下に列挙する。

Meticulous Research (2021a) は世界の英語学習市場について、2020-2027 年は CAGR 6.2%で成長し、2027 年までに USD 540.92 億に達すると予測する。成長の要因として、eラーニングにおける AI の普及、ビジネス界における英語の重要性の高まりなどを挙げる。

Verified Market Research (2021a) は世界の英語学習市場について成長率などの数値は公開していないが、英語はビジネス界のグローバル言語として広く受け入れられており、市場は力強い成長を見せている、としている。成長のもう一つの要因として、英語圏での高等教育を志望する学習者の増加を挙げる。ビジネス界での英語の需要の高まりも指摘しており、英語を公用語とする企業も世界的に増加しているという。COVID-19 を機に、各業界の専門家らはグローバル市場での競争力を得るために、より高度な英語の習得に関心を寄せており、市場の成長を後押ししている。業界ではオンライン学習セグメントがテクノロジーの進化により 2021-2028 年では最大の CAGR となると予測する。

2.2. グローバルのオンライン語学学習市場

次に、グローバルの市場調査のうち、オンラインの（英語以外の言語を含む）語学学習市場について特に着目し、調査レポートより公開されている情報を抜粋して挙げる。

eラーニングによる英語教育サービスの現状と課題の考察

Brandessence Market Research(2021)は世界の(英語以外の言語を含む)語学学習市場について、2021-2027年はCAGR 18.7%で成長し、2027年までに市場規模はUSD 1727.1億に達すると予測している。経済のグローバル化とテクノロジーの進化が成長の主要因としている。COVID-19によりオンライン語学学習市場は活性化し、Duolingoはユーザー増加300%を記録した。

Meticulous Research(2021b)は世界のオンライン語学学習市場について、2020-2027年はCAGR 18.7%で成長し、2027年までにUSD 212億に達すると予測している。

360iResearch(2021)では、2020年のオンライン語学学習市場規模を69.25億ドル、2021年を81.90億ドルと見積り、2020-2026年で市場はCAGR 18.59%で成長し、2026年にはUSD 192.73億に達すると予測している。

Verified Market Research(2021b)は世界のオンライン語学学習市場について、2020-2027年はCAGR 10.2%で成長し、2027年までにUSD 257.3億に達すると予測し、この中で英語は最大シェアを占めるとしている。

2.3. グローバル市場調査のまとめ

グローバルの英語学習市場については、複数の調査会社が堅調な成長を予想していることがわかった。経済のグローバル化によるビジネス界の英語の需要の高まりがその要因として指摘されており、少なくとも2020年代後半まで世界のビジネスの主たる言語として英語が使われ、学習サービスの需要も堅調に続くことが予想されている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を機にオンラインの(英語以外の言語を含む)語学学習市場の目覚ましい活況が報告されており、特に高い市場成長率が予想されていることがわかった。

3. 日本国内の市場調査からみる語学教育とeラーニングの現状

3.1 国内の語学ビジネスとeラーニング市場調査

次に、日本国内の語学ビジネス市場およびeラーニング市場に関する調査レポートより、公開されている情報を抜粋して以下に挙げる。

矢野経済研究所(2021a)は、2020年度の語学ビジネス総市場規模で前年度比10.8%減とする一方、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い2020年4-5月はオンライン英会話において特需とも言える活況を示したとしている。また、注目トピックとして、非対面型レッスンの増加を挙げており、ここにはオンラインレッスンだけでなく、ライブ配信、AIを活用した英会話アプリなど、学習者の自習をサポートするようなサービスの拡大も含まれるとしている。2021年度は語学ビジネス市場全体で前年度比3.2%増を予測している。

山田コンサルティンググループ(2021)は新型コロナウイルス感染症拡大前の2013-2019年の語学業界の市場規模について、語学試験、留学斡旋、通訳翻訳等の周辺ビジネスと、

それ以外を含む語学ビジネス市場に分けて市場規模に関する情報を公開している。周辺ビジネスの市場規模については増加傾向とし、周辺ビジネスを除く語学ビジネスの市場規模の増分は比較的小さいとしている。また、市場全体に占める規模は小さいながら、学習者が従来型の通信教育からeラーニングに移行している状況を指摘している。

矢野経済研究所(2021b)は国内のeラーニング市場における注目トピックとして、AI技術を活用した学習サービスが活発化していることを挙げている。AI活用の主流はアダプティブラーニング領域としており、他に学習アドバイスなどのサービスの増加も挙げている。

3.2 国内市場調査のまとめ

国内の語学ビジネス・eラーニングに関する市場調査はグローバルのそれと比べて情報量が限られていた。ただし上記の情報から、語学ビジネス市場は新型コロナウイルス感染症以前までは緩やかに成長していたが、上記感染症の拡大により大きな打撃を受け、その後回復傾向に転じたと思われる。そうした中でオンラインレッスンを含むeラーニングは活発化しており、従来型の通信教育もこれに吸収されつつある状況があることがわかった。

4. 市場調査のまとめ及び考察

世界規模では語学学習市場は少なくとも2027年頃まで堅調な成長が続くと予想されている。その要因として、経済のグローバル化、多国籍企業の成長・増加によりビジネス界で英語をはじめとした従業員の多言語対応の需要がこれからも増加する事などが挙げられている。

一方で国内の語学学習市場は世界と比較して規模の増加は緩やかなことから、国内の企業、労働人口の英語および他言語への対応の一層の遅れが危惧される。世界の労働者、特に専門性の高い労働者が英語を通じてグローバルな活躍を目指す傾向が報告される中で、国内の労働人口が競争力で遅れをとることが懸念される。

オンライン語学学習市場については、これまでのテクノロジーの進化やインターネットの普及に加えて、新型コロナウイルス感染症を機に世界的な活況が報告されている。語学学習市場全体の成長率に比べ、オンライン語学学習市場の成長率は著しく高く、急速にシェアを伸ばしていることがわかる。これについては日本国内も同様の傾向が報告されている。eラーニングによる語学学習、特に英語学習については、今後も飛躍的な成長と技術の発展が期待される。

5. 世界規模で展開するオンライン英語学習サービス（eラーニング）の動向

複数の国・地域でサービスを展開する比較的大規模なeラーニング、オンライン英語学習サービスのうち、日本国内で教育機関も対象にサービスを展開しているものにつき、調査した（表1）。

リスニング、リーディングについては動画コンテンツの開発、実用化が進んでいる。また、診断テストや受講データを分析し、AIも搭載するなどして、学習者の習熟度・興味関心やニーズに対応してコンテンツを個別最適化するアダプティブラーニングもサービスへの導入が広がっている。また、使用できる端末もPC、タブレット、スマートフォンの全てに対応しているものが既に一般的になっている。言語の学習においては使用場面、コンテキストに関わる情報が具体的で豊富にあることが望ましく、上記のような方式で提供される動画コンテンツは、書籍や音声のみで提供される教材に比べて利点は多い。また、対応端末が増えたことで時間や場所の制約が大幅に少なくなり、いつでも、どこでも、短時間でも学習の機会が得られるようになり、学習の継続もしやすくなった。

スピーキングについては英会話講師によるオンライン英会話レッスンの普及が、新型コロナウイルス感染症を機に爆発的に進んでいる。一方で、自動化・機械化についてはまだ限定的で、発音練習などの限定的な範囲においてAI等による自動即時フィードバック機能が一部で実用化されているが、本格的なスピーキングが練習できるようなものは見られず、開発が待たれる分野である。

ライティングについても自動化、機械化はまだまだ限定的と思われる。スペルや文法チェックまでの機能については既に使用が一般化しているが、学習者の書いたものをその内容・構成に至るまで添削評価する場合には、講師らが人力で行うサービスが散見されるのみであり、本稿で調査したeラーニングサービスの中でもほとんど提供されていない。ライティングについては他の3つのスキルに比べてニーズも限定的であることが推測されるが、こと大学で提供するeラーニングという限りにおいては、AIなどを活用した添削・即時フィードバックが可能となるシステムの開発・実用化が今後大いに期待される。ライティングの添削・評価は教育機関側にとって、受講者の人数に比例して最も工数がかかる作業の一つであるため、自動化によるメリットは非常に大きい。

表1 国内で展開する英語教育 eラーニング

サービス名称	eラーニング教材	音声認識	英会話	ライティング	対応端末	法人・教育機関向けサービス	その他
Berlitz ¹⁾	英会話レッスンとセットのコース「Berlitz Flex」内でeラーニング教材を提供。	AI搭載の音声認識技術をBerlitz Flexに搭載。	ネイティブまたは同等レベルの外国人教師。対面またはオンライン、グループまたはマンツーマンなどを選択できる。		PC タブレット スマートフォン	法人向けにeラーニング・オンライン英会話を含むコースを提供。学校法人には講師派遣。	
English Central ²⁾	動画によるコンテンツ。無償公開しているものもあり。	独自の音声認識技術を採用した発音評価。	原則フィリピン人講師、オプションとして米国人講師によるオンライン英会話レッスンが選択可。		PC タブレット スマートフォン	教育機関向けに管理者ツール、企業向けに管理者アカウントを提供。	
Native Camp ³⁾	シャドーイングのための聞くコンテンツ、多読のための読むコンテンツ（オーディオ付き）を提供。後者はコスモピア社提供。	AIによる自動採点のスピーキングテスト。	日本人を含む120か国以上の国籍の講師によるオンラインまたはマンツーマン英会話。		PC タブレット スマートフォン	法人・教育機関向けにeラーニング・オンライン英会話を含むコースを提供。	
Really English ⁴⁾	アニメーション、単語、読解問題等を含むeラーニングコンテンツコースによりアダプティブでコンテンツを表示。	コースにより、発話録音機能を搭載。ELSA社と提携し、AI音声認識技術を開発中。2022年発売のコースに搭載予定 ⁵⁾ 。	コースにより、提携先のQQE社が提供するフィリピン人講師によるオンライン英会話、または国内EdulinX本社からネイティブの講師がオンライン授業を提供。	コースにより講師添削を提供。	PC タブレット スマートフォン	法人・教育機関向けにeラーニング・オンライン英会話、受講管理システム等を提供。	
Rosetta Stone ⁶⁾	訳語を介さない直感的な理解を目指すコンテンツ。ソフトウェア教材としてソースネクスト社が提供。	独自の発音判定技術を採用。	ロゼッタストーン・ラーニングセンターという名称でディーンモルガン社 ⁷⁾ が英会話スクールを展開、対面・オンラインで英会話レッスンを提供 ^{※1)} 。		PC タブレット スマートフォン	法人・教育機関向けにはマンツーマンオンライン英会話レッスン、学習動画コンテンツをアシストマイクロ社 ⁸⁾ が提供 ^{※1)} 。	ソースネクスト社が個人向けソフトウェア教材を販売 ^{※1)} 。
VOXY ⁹⁾	動画を含むコンテンツを提供。習熟度、興味によりアダプティブラーニングによる提供もあり。	独自の音声認識技術を採用した発音評価。	世界中の講師によるオンラインのグループまたはマンツーマン英会話。 ※サイバー大学ではグループレッスンのみ提供（2021年12月現在）。		PC タブレット スマートフォン	法人・教育機関向けにeラーニング・オンライン英会話、受講管理システム等を提供。	国内ではサイバー大学のCU ENGLISHでのみ提供 ^{※2)} 。

※1 国内では異なる3社がRosetta Stoneの名称を冠した別個のサービスとして展開している。

※2 VOXYとしては日本ではサービス展開をしておらず、サイバー大学にCU ENGLISHとして提供している。

6. まとめ

本稿では語学学習市場、英語学習市場、そして英語学習のeラーニングの市場の現状について俯瞰した。その結果、語学教育の需要は世界的に拡大傾向であり、中でも英語が世界の共通言語として引き続き堅調な需要が予想されていることがわかった。また、英語学習の手段としてeラーニングの市場の成長が特に目覚ましいこともわかった。eラーニングのサービスの内容については、リーディング・リスニング教材については既に一般化しており、各社はユーザーインターフェイスやコンテンツの量・質により差別化が見られる段階にある一方で、スピーキング、ライティングでは機械化・自動化されたサービスの実用化はまだまだ限定的であることがわかった。こうしたプロダクティブ・スキルに対応するサービスの開発、実用化が待たれる。またユーザーたる教育機関としては、従来型の教室と教科書を前提とした教育方式に加えて、各機関の事情に応じて需要に合ったサービスを取り入れ、その使用に習熟していくことで、従来よりも教育効果、費用対効果の高い教育を提供することが可能になると考えられる。

Abstract

This paper presents the findings on the current status and trends of e-learning in ESL. According to the market reports from several global and local research firms, the demand for language learning will show steady growth for the next several years, and English learning will remain a major part of the growth. The market of English e-learning has shown massive growth since the COVID-19 pandemic, and firms predict that the rapid increase will go on for the next several years. The paper also compared several major e-learning services in Japan and found that most services are provided on multiple devices such as PCs, tablets, and smartphones, and that abundant study materials for improving reading and listening skills are offered by many organizations. Development of materials and platforms for learning speaking and writing skills, however, are still relatively limited. Many companies offer online speaking lessons that are conducted by live instructors. Correction and feedback on written works are offered by a limited number of companies, and they are also conducted by human instructors. Automated and real-time feedback to train speaking and writing skills are still under development.

注

- 1) <https://www.berlitz.com/ja-jp> (参照 2021-12-10)
- 2) <https://ja.englishcentral.com/> (参照 2021-12-10)
- 3) <https://nativecamp.net/> (参照 2021-12-10)
- 4) <https://www.reallyenglish.co.jp/> (参照 2021-12-10)
- 5) <https://www.edulinx.co.jp/2021/11/26/edulinx-elsa/> (参照 2021-12-10)
- 6) <https://www.sourcenext.com/product/rosettastone/> (参照 2021-12-10)
- 7) <https://www.rosettastone-lc.jp/> (参照 2021-12-10)
- 8) <https://www.assistmicro.co.jp/service/rosettastone> (参照 2021-12-10)
- 9) <https://voxy.com/> (参照 2021-12-10)

参考文献

- Brandessence Market Research (2021). “Language Learning Market Size By Language Type (English, French, Spanish, Mandarin, Others), By Services (Online Courses, Offline Courses), By End-User (Educational Sector, Government Sector, Corporate Sector, Others) Analysis Report, Regional Outlook, Growth Potential, Competitive Market Share & Forecast, 2021 – 2027”. Brand Essence Market Research.
<https://brandessenceresearch.com/technology-and-media/language-learning-market>,
(参照 2021-12-9)
- Meticulous Research (2021a). “English Language Learning Market by Methodology (Offline, Online, Blended Learning), End-User (Individual, Education, Government, Corporate Learners) - Global Forecast to 2027”. Meticulous Research.
<https://www.meticulousresearch.com/product/english-language-learning-market-5127>,
(参照 2021-12-9)
- Meticulous Research (2021b). “Online Language Learning Market by Product (SaaS, Apps, Tutoring), Mode (Consumer, Government, K-12, Corporate), Language (English, German, Japanese, Korean, Mandarin Chinese) and Geography - Global Forecast to 2027”. Meticulous Research. <https://www.meticulousresearch.com/product/online-language-learning-market-5025>, (参照 2021-12-9)
- UNESCO Education Sector (2021). “Supporting learning recovery one year into COVID-19: The Global Education Coalition in action March 2021”. UNESCO.
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000376061/PDF/376061eng.pdf.multi>. (参照 2021-12-09)
- Verified Market Research (2021a). “Global English Language Learning Market Size By Type (Offline, Online), By Application (Children, Adults), By Geographic Scope And Forecast”. Verified Market Research. <https://www.verifiedmarketresearch.com/product/english-language-learning-market/>, (参照 2021-12-9)

eラーニングによる英語教育サービスの現状と課題の考察

- Verified Market Research (2021b). “Online Language Learning Market Size By Type (Individual Learners And Institutional Learners), By Language (English, Spanish, Chinese, French, German, Japanese, and Others), By Geographic Scope And Forecast”. Verified Market Research. <https://www.verifiedmarketresearch.com/product/global-online-language-learning-market-size-and-forecast-to-2025/>, (参照 2021-12-9)
- 360iResearch (2021). “Online Language Learning Market Research Report by Language (Arabic, English, and French), by Component (Services and Solutions), by End User, by Region (Americas, Asia-Pacific, and Europe, Middle East & Africa) - Global Forecast to 2026 - Cumulative Impact of COVID-19”. 360iResearch. <https://www.marketresearch.com/360iResearch-v4164/Online-Language-Learning-Research-Arabic-14668090/>, (参照 2021-12-9)
- 勝眞一郎 (2020). “コロナ禍における大学等の eラーニングへの取り組みについて”. eラーニング研究. 第9号. p5-11.
- 矢野経済研究所 (2021a). “2021 語学ビジネス徹底調査レポート”. 株式会社矢野経済研究所. https://www.yano.co.jp/market_reports/C63100700, (参照 2021-12-9)
- 矢野経済研究所 (2021b). “eラーニング市場に関する調査を実施 (2021年)”. プレスリリース. 2021-04-26. 株式会社矢野経済研究所. https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2702 (参照 2021-12-9)
- 山田コンサルティンググループ (2021). “M&A 業界動向 語学学校業界”. 株式会社山田コンサルティンググループ. <https://www.ycg-advisory.jp/industry/education/language-school/>, (参照 2021-12-9)